

## 授業改善プラン

地域名	北総教育事務所	学校名	香取市立小見川中央小学校
-----	---------	-----	--------------

### 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 令和元年度までの全国学力・学習状況調査の結果から、記述式の問題に課題が見られた。
- 領域を問わず、答えを求める方法や事実、理由を言葉や数、式を用いて適切に記述することに課題が見られた。

### 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」の「広げ深める」過程において、児童が考えを共有するための活動を取り入れた授業改善を行えば、児童が自ら考え、相手に説明する力を高めることができるであろう。（前期）
- 『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」の「広げ深める」過程において、ICTを効果的に活用した授業改善を行えば、児童が自ら考え、相手に説明する力を高めることができるであろう。（後期）

### 3. 具体的な実践

- 5年「合同な図形」
  - ・児童が自ら図形の構成要素に着目し、かく活動や調べる活動を通して、合同な図形のかき方を考え、気付いていけるようにするための発問の他、根拠をもたせる発問、他の児童へつなげる発問、授業に遅れがちな児童を助けるためにつなげる発問などを取り入れた。
  - ・相手の考えを理解し、自分で説明する力を高めるために、「広げ深める」過程において、三角形をかく方法が異なるグループでの話し合いや、ペアでかく方法を確認し合う活動を取り入れた。
- 6年「拡大図と縮図」
  - ・かくことが苦手な児童でも、知識を活用して自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしやすいように、「広げ深める」過程において、プログラミング学習プラットフォームを活用した。
  - ・理解の定着を図りながら、自分の考えを深めることができるように、グループ学習を取り入れた。

### 4. 成果

- 考える視点、話し合いの視点を明確にしておくことで、「広げ深める」過程で自分の考えを説明したり、友達の説明を聞いたりする姿が見られた。
- 「広げ深める」過程では、ICTも活用しながら、知識をアウトプットする活動を設定することが、児童の「わかる」「できる」へとつながるということが分かった。

#### ◆担当指導主事から（北総教育事務所 指導主事 蛭川 俊之）

- 香取市立小見川中央小学校は、この1年間、これまでの全国学力・学習状況調査の結果を分析し課題を見付け、授業改善に取り組んだ。『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」の「広げ深める」過程において、児童が考えを共有したり ICT 機器を効果的に活用したりした取組が、児童が主体的に考えたり、説明したりする姿につながることができた。